

これまでに梶原診療所より訪問診療を受けた末期腎不全の患者様へ ～過去のカルテデータの調査研究への使用のお願い～

東京ふれあい医療生協梶原診療所では「末期腎不全:ESRD(End Stage Renal Disease)の透析非導入症例に対する単施設後方視研究」という臨床研究を行なっております。この研究は、末期腎不全の方に対する在宅医療の症状、治療について調査を行って今後の診療に生かすことを主な目的としています。そのため、過去に末期腎不全で訪問診療を受けた患者さんのカルテから研究に関するデータを使用させていただきます。今回の研究では個々の患者さんからの同意取得はせず、代わりに患者さんへ向けて情報を公開することといたします。なお、本研究は、東京ふれあい医療生協倫理委員会での承認を受けて行われます。以下に研究の概要を示します。

【課題名】

末期腎不全:ESRD(End Stage Renal Disease)の透析非導入症例に対する単施設後方視研究

【研究の目的】

末期腎不全の患者に対しての症状、治療などを分析することで、今後の診療に生かすことを目的とします。

【研究の意義】

透析を行わない末期腎不全の患者の症状や治療は未だ不明な点が多く、当院の現状を分析することでそれを明らかにします。

【研究期間】

予定研究期間:倫理委員会承認日～2021年12月31日

【対象となる患者様】

2011年1月～2021年4月に梶原診療所より透析非導入のため当院で在宅緩和ケアを受けて亡くなった患者様。

【利用させていただく情報】

性別、年齢、末期腎不全の症状、同時にお持ちのお病気、治療内容、透析を受けなかった理由、亡くなった場所、原因についてになります。透析を受けなかった理由については、当時の担当医から情報収集します。

【研究の方法】

対象となる患者様の利用させていただく過去の情報について、電子カルテと旧紙カルテから情報収集を行います。

【データの管理】

患者の個人情報、現在使用している電子カルテと旧紙カルテから収集します。電子カルテのデータはパスワードを必要とするカルテ内に保存し、紙カルテの個人情報は、梶原診療所内の鍵のついた保管庫で保管します。調査研究の成果は学会や学術雑誌等で発表される場合がありますが、氏名などの個人を特定できる情報が公開されることはありません。

【謝礼について】

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、またデータを使用させていただいた方への謝礼等もありません。調査研究の結果、何らかの知的財産が生じる可能性もありますが、その権利は東京ふれあい医療生協に帰属し、該当する患者様には帰属しません。

【利益相反について】

この研究に対して利益相反はありません。

【その他】

研究計画書及び関連資料は、ご希望に応じて閲覧(個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限る)することができます。

本研究の対象となる方で、今回のデータ使用に同意されない場合やご不明な点については、変
お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京ふれあい医療生協 梶原診療所 角 允博
〒114-0004 東京都北区堀船3-29-9 電話:03-3911-5171